



未来への一步

Harima Special Needs School News

第040号

発行：兵庫県立播磨特別支援学校

はりゴン

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1

TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

休校中の学校の様子

「臨時休校中の過ごし方について」が生徒指導部から出され、学習面・生活面・健康面について、HPで生徒のみなさんに重ねて注意を呼びかけました。

休校中の課題を各家庭に郵送しました。

また、ネット環境がない家庭には、県教育委員会よりタブレットの貸出がありました。オンライン学習も少しずつ進めています。

<HPの動画ライブラリページ>

「私たちができる感染予防」(保健安全部より)

「学校校舎案内」(1年生の先生より)

「楽しい朝ごはん作り」「簡単！ドリア作り」「タコライス・スープ作り」(給食室より)

「テーブル拭き」「洗濯たたみ」(チャレンジ職業・職業実習)

「アニメーションをつくろう」(美術科)

<校内の花壇の整備>

例年、就業技術科の園芸技術コースで行う花壇の整備を先生方で行いました。2ヶ所の花壇がきれいになりました。学校が再開される頃には、花の苗もしっかりと根付いて花いっぱいの花壇になることでしょう。楽しみです。

<アキアカネの卵の放流>

就業技術科の園芸技術コースが交流しているNPO法人「たつの・赤トンボを増やそう会」の方が、アキアカネの卵と飼育箱を持ってきてくださいました。早速飼育箱を玄関付近に設置し、水の準備を整えて、飼育箱に卵を放流しました。順調にいけば、7月下旬には成虫(トンボ)になる予定です。童謡「赤とんぼ」の作詞者である三木露風さんは、たつの市の出身です。

田んぼの上を、赤トンボが飛んでいる風景を楽しみに観察していきたいです。



校長先生によって放流されました！



飼育箱

緊急事態宣言解除で学校再開

学校に元気な声に戻ってきました。しかし、しばらくの間は学年ごとの分散登校です。6月1日(月)には3年生、2日(火)には2年生、3日(水)には1年生が登校しました。2年生・3年生は着任式・始業式を挙行了しました。約3ヶ月ぶりの登校となり、式はコロナウイルス感染予防対策を十分に行ったうえで行われました。

着任式では、校長先生、教頭先生はじめ延べ32名の新着任の先生方との紹介がありました。始業式では、校長先生が式辞の中で、「コロナウイルス感染症予防対策」として、「手洗い」「マスク」「咳エチケット」「ソーシャルディスタンス」などについてふれ、「今日生きるために、未来を変えるために」も、1日1日を大切にすることをお話されました。

15日(月)からの通常授業に向けて準備を進めていましたが、県教育委員会からスクールバスの乗車率を半分程度にして運行するようとの通知があり、就業技術科はしばらくの間、分散登校になります。



寄宿舎の新しい生活スタイル

寄宿舎が6月14日より開舎されました。寄宿舎でも、「コロナウイルス感染症予防対策」として、新しい生活スタイルが考えられ、それに沿っての生活が始まりました。2年生・3年生はこれまでの寄宿舎生活との違いに、しばらくは戸惑いやストレスを感じることもあるかもしれません。また1年生は、初めて親元を離れての生活に、しばらくは不安が大きくなるかもしれません。

しかし、これから長く続くと考えられる、ウイルスとの共生のための大切な取組であることを、生徒の皆さんと保護者の方々に理解していただき、ご協力をお願いしました。

お知らせ

令和2年度 中3生対象オープンスクールの中止に代わる学校紹介の動画が、総務部よりアップされています。